

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会議名	令和6年4月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	令和6年4月26日(金)午前9時30分
会議時間	午前9時25分から午前10時42分まで（1時間17分）
場所	教育会館 3階会議室
出席者	鈴木一吉 教育長 鈴木万里子 委員 大谷純應 委員 溝口知秀 委員 吉田陽子 委員 (計：5人)
欠席者	無し
傍聴者	無し
当局出席者	石黒克明 教育部長 小澤一則 教育監 山本 浩 教育企画課長 平野邦孝 未来の教育推進室長 戸塚建司 おいしい給食課課長 荒浪 健 子ども未来課長 戸塚隆雄 育ちの森所長 神田明治 学校教育課長 中村悟史 魅力ある部活動推進室長 大庭尚文 生涯学習課長 小久江暁子 袋井図書館長 白澤 崇 歴史文化館長 長谷川美徳 教育企画課参事兼教育総務係長 (計：12人) (合計：17人)
会議に付した 事 件	別紙「令和6年4月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和6年4月 袋井市教育委員会定例会 日程
会 議 日 程

- 日程第1 開 会
- 日程第2 会議録署名委員の指名
- 日程第3 会議録の承認
- 日程第4 教育長報告
- 日程第5 教育部月例事業報告
- 日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

(1) 報告事項

- 報第29号 「まちじゅう図書館推進事業」デジタル田園都市国家構想交付金採択について
- 報第30号 令和6年度袋井市立中学校の部活動地域連携・移行に関する取組
- 報第31号 幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業について
- 報第32号 令和5年度 袋井市幼児教育センター事業報告について
- 報第33号 令和6年度英語力向上推進事業について
- 報第34号 【教育委員会】令和5年度 第4回定期監査に伴う指摘、検討事項について
- 報第35号 袋井市立学校、幼稚園等の防火管理者の解任又は任命について
- 報第36号 袋井市立学校、幼稚園等の衛生推進者の解任又は任命について
- 報第37号 袋井市立小中学校衛生委員会委員の委嘱又は任命について
- 報第38号 袋井市立学校職員安全衛生協議会委員の委嘱又は任命について
- 報第39号 袋井市立小中学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
- 報第40号 袋井市幼保小の架け橋期のカリキュラム開発会議委員の委嘱又は任命について
- 報第41号 袋井市立学校給食センター運営協議会委員の委嘱又は任命について
- 報第42号 袋井市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱又は任命について
- 報第43号 袋井市笠原児童館運営協議会委員の解嘱若しくは解任又は委嘱若しくは任命について
- 報第44号 袋井市子育て支援拠点施設運営協議会委員の解嘱又は委嘱について
- 報第45号 袋井市子ども・子育て会議委員の委嘱又は任命について
- 報第46号 袋井市子ども早期療育支援センター運営協議会委員の解嘱若しくは解任又は委嘱若しくは任命について
- 報第47号 袋井市子ども早期療育支援センター第三者委員会委員の解嘱又は委嘱について
- 報第48号 袋井市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
- 報第49号 袋井市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- 報第50号 袋井市学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命について
- 報第51号 令和6年度 袋井市就学支援委員会委員の委嘱又は任命について
- 報第52号 部活動地域移行推進協議会委員の委嘱又は任命について
- 報第53号 袋井市社会教育委員の解嘱又は委嘱について
- 報第54号 袋井市社会教育指導員の任命について
- 報第55号 袋井市青少年問題協議会委員の解嘱若しくは解任又は委嘱若しくは任命について
- 報第56号 袋井市立図書館協議会委員の解任又は任命について

- 日程第7 その他

(1) 連絡事項

- ア 令和6年度袋井市の青少年健全育成事業「健やかな成長を願って」
- イ 令和6年度「袋井の教育」について

(2) 次回定例会等の予定について

5月教育委員会定例会

令和6年5月29日(水) 午後1時30分 教育会館3階 ICT研修室

(3) その他

- ア 令和6年度 教育委員学園巡回訪問日程について
- イ 令和6年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会(茨城大会)について

日程第8 閉会

1 開会

- 教育長

2 会議録署名委員の指名

- 教育長

溝口委員 と 吉田委員 を指名

3 会議録の承認

- 教育長

3月の定例会の会議録については、承認

4 教育長報告

- 教育長

資料に基づき、主な内容を報告

5 教育部月例事業報告

- 各課長

資料に基づき、各課長から主な事業を報告

6 議事

- 教育長

今回は、議決事項及び協議事項はございません。報告事項について、事務局から説明をお願いします。

報第29号 「まちじゅう図書館推進事業」デジタル田園都市国家構想交付金採択について

- 袋井図書館長

資料に基づき説明

●教育長

デジタル田園都市国家構想交付金につきましては、9千万円以上の金額が一応満額採択されたわけですが、21市の中でもトップの金額で、県下の中でも小山町について2番目で採択されてよかったですと思います。

報第30号 令和6年度袋井市立中学校の部活動地域連携・移行に関する取組

●魅力ある部活動推進室長

資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]

なし

報第31号 幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業について

●未来の教育推進室長

資料に基づき説明

●吉田委員

この間は参観に参加させていただきありがとうございました。その時に北小の先生からのお話で、入学して一週間1時間目はずっと外遊びをしているよと、それが架け橋のカリキュラム的なことをおっしゃっていらっしゃったのですが、授業を観させていただき授業そのものはまだまだ硬いなと感じまして、その授業中身そのものをもっと柔らかくスロープになるようないきなり授業の形をとるのではなくて、もうちょっとなじみやすいような授業そのものの中身をもう少し見ていただけたらいいのかなあと感じたのが1点と、もう1点が特別な支援を要する子への対応ってということで、確かに特別な支援を要する子に対して個別に先生がつくとか声掛けするとかというのも大切なんですけれども、そうではなくて授業そのものがいろんな子を巻き込んで、全体的に包括できるような授業にならないと結局インクルーシブにはならないのではないかなあと思っているの、授業そのものをもう少し改善していただけたら嬉しいなと感じました。

●未来の教育推進室長

御意見ありがとうございます。まさにそのとおりですね。遊びと授業とありますが、遊びは遊び、授業は授業といったそこにまだ段差ができていますね。例えば、遊びの中でちょうど算数の授業をやっている子供達がいたと思うのですが、数字の3とか2とかいうあの時に遊びです外から何でもいいから3つ拾ってごらんとか遊びをですね、石を3つ拾っていいんだけど何か3つ拾っていいんだけどこれが何って言ってそれが授業の方に結び付くとそこにはなだらかな接続というものが生まれると私の方はそのように私は見て感じていたのですが、そのあたりが現場サイドではもう少し研究を要するのではないかなあと感じました。御意見もその場でありましたけれども、吉田委員がおっしゃるようにもう

少し授業の研究はしていく必要はあるのかなあと小学校側に資質向上は狙わないといけな
いと感じました。

●鈴木委員

終わった後でちょっと3人の委員と話をしたのですが、吉田委員と全く同感で、やっぱ
りあそこでも田宮先生からも言われたように、1年生で45分持たないっていうのは昔から
言われていることで、そこの中の遊びを、離席が困るんだったら、離席してもよい、今ち
ょうど室長から言われたように離席したいんだもんね、それが必然になるようなそんな授
業になるような是非資質向上そのところかなあ。それがないと段差解消が先送りになる
だけでまたそこに大きな段差が出てくるんじゃないかなあとそのように感じました。

●未来の教育推進室長

ありがとうございます。もうほかの学校からも出てきていて、4月の段差はなくなった
けれども6月になると段差が生まれたというのは、実はスタートからそのようにやってき
たけれども遊びのなくなった6月になるといきなり授業になるものですからまた段差が生
まれるという意見を現場からもいただいております。また、これについては、現場の方にも
話をしていきます。ありがとうございました。

報第32号 令和5年度 袋井市幼児教育センター事業報告について

●子ども未来課課長

資料に基づき説明

●吉田委員

質問なのですけれども、資料P15の1番最後に「存続のための組織仕組み作りを念頭に教
育委員会事務局に働きかけたい」という項目があるのですけれども、これはその文科省の
授業の指定がなくなったらこのセンターもなくなっちゃうかもしれないみたいな話なので
しょうか。

●子ども未来課課長

私個人といたしましては今申し上げましたように、やっとな民間園の先生に対してもこの
取り組みが浸透してまいりまして、やはり私個人としましてはまだ道半ばとかなと思うと
ころでもありますので、もし単費になったとしても継続していきたいという気持ちは強
くあります。

●吉田委員

私もやはり公立私立の枠は関係なく支援するセンターの意義は大きいかなと考えます。

●教育部長

組織の関係ですので私からも補足をさせたいいただきます。現在は、アドバイザーという
形で2名の会計年度が主に担当しておりますが、市の職員幼稚園教諭が指導主事としてそ

の同じ事務所に勤めておりますので、そうした人間も公立だけではなくて私立の方にも少し目を向けていくということもここ1、2年ずっと積み重ねてきていますので、今後はこのセンターへの国の補助がなくなったとしても今担当課長が申し上げたとおり、市として先ほど申し上げたバランス的には私立園が増えておりますので、そこを公立園と同等に見ると、先ほどの架け橋もそうですが、そうした形をとっていくことがますます必要になってきますので、課の中にはそういった業務を持たせてやっていくということを教育委員会としては目指していくことを考えております。

●教育長

アドバイザーの人がこの報告書をまとめてくれたものですので、アドバイザーとすると教育委員会事務局へ働きかけたいという、教育委員会としては幼児教育センターをこのまま継続したいと思っています。お金のこともありますので、まあこのような表現になっています。

●溝口委員

いろんな研修とかを中心にやっていただいているんですごくいいなあと思ったのですが、P6のところの上の表で資料2という表がございまして、配慮が必要な子供への支援とか、幼小中の接続、まあこの辺を重点的にですけど我々が見ている限り大変幼稚園・保育園の先生が大変なね仕事をされているので、この中にある園とか職員の相談・支援、特に現場の人の声を聴いてあげていただきたいなあと思っています。なかなか園長先生だけに聴いても一定のなかなか見えないような、まあ我々もそのように感じています。その辺をぜひ力を入れていただければなあと思っています。

●子ども未来課課長

ありがとうございます。今おっしゃられたとおり自分自身もですね、園の方に出向いて、6年前に係長をやっておりまして、なるべく現場の声を聴きたいということで係長という立場でたくさん教員の教頭先生以下の、教頭先生より下の先生のいろんなお話を聴かせていただいてきましたけれども、この当時のことを忘れずに今もやっていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

●教育長

今後、公立園との交流で、私と教育監と教育部長と手分けをして回りましょうと言っておりまして、1回は園長先生と話をしますが、もう1回は園長先生以外の人と話をしようと思っています。それから最後に、ちょっと先の話になりますけれども、来年度の保育士等の募集をしております、今年はずごく早くですね一次試験がもう終わっております。今募集状況を見ますと、来年度の教育職10人一次試験を受かっている状況でございまして、これから二次試験へ入っていく。最終的に何人がということですが、最終的には来年度も8人ぐらいの採用をしたいと思っています。

●吉田委員

すみません、ちょっと1点聴きたいことがあるのですが、この資料のP16にも幼児教育センターのホームページのQRコードがありますが、これをいつ読み込んでもずっとメンテナンス中のままなので、たまにアクセスしてみるんですが。去年私が就任してから、「つむぐ」にも載っていた時があって、そこから読み込んでもメンテナンス中でたまにアクセスをしてみてもあれなんですけど、ちょっと御確認をお願いします。朝見てもやっぱり無理でしたが。一年間ずっとアクセスするたびにメンテナンス中なのでちょっとお願いします。

●子ども未来課課長

課に戻りましたら確認します。

報第33号 令和6年度英語力向上推進事業について

●学校教育課課長

資料に基づき説明

●大谷委員

英語力向上というのが具体的に何をもちって尺度とするか定義が難しいところもありますが、もちろん英文に親しんで将来的に英語がしっかり活用できる子であればいいと思いますが、例えば、中学生であれば自分が希望する高校に進学する際、いわゆる受験の時の英語の試験に耐えうるかといういわゆる英語力があるのかという、或いはいわゆるもっと言ってしまうと大学受験の時にも基礎的な学力というところのどの程度で繋がっていくのかと考えるのかなあとちょっと見えにくいのかなあと。ALTの活用であれば、例えば英検のチャレンジとかですね、イングリッシュデイキャンプ、これから始めようとする放課後イングリッシュクラブなどもそうなんですけれども、ちょっと気になっているのが、いわゆる市とか市教委とそれに協力していただける方、実際現場のですね、英語担当の先生方との連携とか活用をどういう風に考えられているのか、現実子どもたちの英語力さっき言いたいふわっとしたところで英語が好きになっていくとか、これから英語を使っていきたいなところとかも大事かと思うんですけれども、現状いわゆる子供達に必要ないわゆる学力としての英語力っていうのは、まあそれかいわゆる中学であれば英語の担当の先生方はそこを多分目指しているのだと思いますが、その辺りの先生方のお考えとかについて、市教委はどう考えられているか、どこで結びついているかとか、あるいは少し何かとの連携みたいなものがあればお聞かせ願いたいと思います。

●学校教育課課長

ALT活用の研修会等も行っておりますが、その時に英語担当にも来ていただいて今年度市が目指している英語力向上の授業については説明をさせていただいて、同じような考えでやっていこうねとやっています。英検チャレンジや放課後イングリッシュクラブについても趣旨を理解していただいて進めています。何よりも大事なことは日常的に行っている英語の授業かなあと考えているので、ALTがいるから大丈夫ということではなくて本市の方で進めている授業改善ですね、英語についても現場と連携して子どもたちのことを

考えながら、実際に子どもが話すという機会を大事にしながら英語力をつけていきたいと思いますということを進めていこうと話をさせていただいたところであります。

●教育監

自分が中学校の校長でいた時に、ALTの先生と私の担当が英語ですものですからALTミーティングについて話すことができました。ALTもやはり授業力向上というのを目指していて、彼らも自分達でテストみたいなものを行っているんですよ。市内全部のALTが各中学校に集まって、実際に図書室みたいなところでALTと生徒が1対1で話す機会をもっています。その時にALTなりにこの子は本当に英語の力がついていないかということをチェックしてですね、それを担当の先生と協力をしながらやっていて、それを共有しながら、この子はこの点ができているからそれについて授業を改善していきましょうということもやっているものですから、そういった意味でALTの役割も大きいです。また、さっき課長が言いましたけれども英検チャレンジにつきましても、英語に対する興味を持たせるという意味でもそれは一つの価値があるのかと思っているので、そういったことでテストもやっているし、それで自信になるとか、やっぱり英語って繋がったとか通じたとかいう成功体験が伸びのところになっていくものですから、その体験化されることでやっぱり英語好きになっていって、それがリーディングだったりとかライティングにも繋がっていくものだなと私は思っています。今後ますます今課長が言いましたけれども授業の中で効果的にやる必要があるスキルがありますので、それを総合的にやって更に英語力を高めていく必要があるかなあと思っています。

●大谷委員

ALTの活用は別としてというお話をさせていただいた中で質問させていただいたのですが、特に例えば英検もそうですしねそれ以外のところもそうですが、現実にさっき言った英語ってやっぱり成功体験の中でももちろん話を通じたとか、英検をこの級をとったということは学習の意欲に繋がっていくということが非常に重要になるのかなあと考えると、現状P2をめぐっていただいたところにある課長から説明があった矛盾点ですよね、最終的には英語の学力がついているのかなあとというところはこれから少し調査をしなければならぬという説明があったと思いますが、やはりこれが結びついてくるのが最終的にはこういうことを一生懸命市の方で取り組んでやっていただいているということ、子どもたちがもちろん二極化した中ですごく英語が得意で、英語をすごく学ぼうという意欲がある子たちがますます特化して英語力が高まるということが必要なのかもしれませんが、全体的としてのボトムアップしていくにはもう少し英語の授業とかに対してうまく連携して、みんなが英検とったから勉強しようかなとかいうちょっとやってみたら面白いかなあとか、実際にはもちろん2級とか準2級とかはなかなか中学生では難しい話かなあとと思いますが、3級がんばったらとれたなあとか、じゃあ英語がんばってみようかなあというところに最終的には向かっていかないとどうにもこうにもというのが、今言ったよく見ると数値が下がってきているということは何でしょうかねということの説明していかないとそこところが答えていないのかなあと思っています。是非やはり現場の先生方ともう少しコミュニケーションをとる中でこういうものが実際の英語の授業の中で間接的にでも活かせることについて

でも少し御検討いただけたらなあと思います。

●学校教育課課長

この22.3%というのが、国が下にもう1つ参考という表があると思いますが、(B)のところですね「思われる」というところも入れたものをA+Bというところを国は指標としているのですが、ところが非常にそれって教師の主観によるものなので、本市は令和2年度からそうではなくて実際に相当する級を取っている子だけを見ていこうということで指標を定めました。ただ、私が課長になってからなかなか伸びないという中で、こういった英検とかは受検しないことには合格しないですよ、そこをまず参加者を増やしていくことが重要で、子どもたちが参加しようとする気持ちを育てるということは大事にしようということでここ2年やってまいりました。で、いわゆる昨年度少し参加者数が増えたところでありまして、一方で本市A+Bが45、国は60に目標を上げたんですよ。今大谷委員がおっしゃったような(B)の中に受検はできていないけれども力がついている子も相当入ってくるかなあと思います。あくまで、主観ですけども、この中に含まれている結果として受検はしていないけれども確実に力をつけてきているぞという子が増えていくといいなあと思っております。実際に受けて合格したというのがわかりやすい指標になりますので、そちらを追いかけつつ(B)のところですね、教師がこの子はすごく力がついているぞと、全体的にグーっと増えて底上げができていくように頑張っていきたいと思っております。

●溝口委員

大谷さんがおっしゃったとおりなんですけれども、授業って結局先生もいわゆる受験じゃないですけども、決まったものをきっちり覚えてほしいところが主体で、その延長でその実力を試すのが英検だったりというところでこれは続けてやらないといけません。社会に出て社会人として見てみるとですね、会社に入ってきた子なんかでも外国人と接する時に接するというのに慣れていないとか、怖さがない、要は日本語が喋れない外国人に対して怖さがない子が一番強いんですよ。そういう意味では放課後の活動などを使って喋れる、喋れないのは別としてもそういう外国の方と接する機会を増やすというのがね、授業とは別にもう一つ別のラインとしてこれからすごく重要になってくるのではないかという気はしますね。その辺は学校の先生にいろいろお願いするもの難しいんで外の人を使って、外国人がいっぱい増えてきているのでこういうのは二本建てでやっていた方が将来的に社会のためになる子が増えるかなという風な感じはしています。

●学校教育課課長

15年ほど前かな、小学校に英語が入ってきて、その時にもちょうど指導主事でおりました。ほんとに子どもが固まっている子供達もいっぱいいました。英語を嫌ってはっきり言う子もいっぱいいました。だいたいそういう子が本当に減りました。子供達を見ていると聴く力もすごいなあ、自分も追いついていけないくらいなのに。そういう子供達が小学校にもたくさんいます。すごく良い現れでうれしいなあと思います。子供達もだんだん抵抗感がなくなっているし、もう1つ最近すごくうれしいなあと思ったことは、教育監

に実はALTの活用研修会でファシリテートしていただいてテーマ研修をやっていただいたのですが、教育監が英語を喋っているととてもかっこいいんですよね、改めて思いました。感じたのはALTのみなさんのスキルがものすごく上がっていると感じました。大人の私に対しても上手に、上手く日本語と絡めながら接してくれるんですよね、優しいなあって思ったのですけれども、みんなが段々あててもらいながら授業をやっていく中で子供達もALTもそして教員も随分あたった時も上手になってきたことを感じていますし、もっともっと子供達が力をつけていけるのではないかなあと期待感で思っています。後は、ただ観に行くと授業づくりが何でここでこの課題なのとかってというのは英語素人の私が見ていてもそう感じる場所がまだあるので、そういったところは授業改善の方をきちんとやっていくようにということは話をしていきたいなとは思っています。

報第34号 【教育委員会】令和5年度 第4回定期監査に伴う指摘、検討事項について
●教育企画課課長
資料に基づき説明

[質疑・意見(要旨)]
なし

- 報第35号 袋井市立学校、幼稚園等の防火管理者の解任又は任命について
- 報第36号 袋井市立学校、幼稚園等の衛生推進者の解任又は任命について
- 報第37号 袋井市立小中学校衛生委員会委員の委嘱又は任命について
- 報第38号 袋井市立学校職員安全衛生協議会委員の委嘱又は任命について
- 報第39号 袋井市立小中学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
- 報第40号 袋井市幼保小の架け橋期のカリキュラム開発会議委員の委嘱又は任命について
- 報第41号 袋井市立学校給食センター運営協議会委員の委嘱又は任命について
- 報第42号 袋井市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱又は任命について
- 報第43号 袋井市笠原児童館運営協議会委員の解嘱若しくは解任又は委嘱若しくは任命について
- 報第44号 袋井市子育て支援拠点施設運営協議会委員の解嘱又は委嘱について
- 報第45号 袋井市子ども・子育て会議委員の委嘱又は任命について
- 報第46号 袋井市子ども早期療育支援センター運営協議会委員の解嘱若しくは解任又は委嘱若しくは任命について
- 報第47号 袋井市子ども早期療育支援センター第三者委員会委員の解嘱又は委嘱について
- 報第48号 袋井市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
- 報第49号 袋井市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- 報第50号 袋井市学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命について
- 報第51号 令和6年度 袋井市就学支援委員会委員の委嘱又は任命について
- 報第52号 部活動地域移行推進協議会委員の委嘱又は任命について
- 報第53号 袋井市社会教育委員の解嘱又は委嘱について
- 報第54号 袋井市社会教育指導員の任命について
- 報第55号 袋井市青少年問題協議会委員の解嘱若しくは解任又は委嘱若しくは任命につ

いて

報第56号 袋井市立図書館協議会委員の解任又は任命について

●教育企画課課長

資料に基づき一括説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

7 その他

(1) 連絡事項

ア 令和6年度袋井市の青少年健全育成事業「健やかな成長を願って」

イ 令和6年度「袋井の教育」について

(2) 次回定例会等の予定について

5月教育委員会定例会

令和6年5月29日（水） 午後1時30分 教育会館3階 ICT研修室

(3) その他

ア 令和6年度 教育委員学園巡回訪問日程について

イ 令和6年度 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（茨城大会）について

8 閉 会

（午前10時42分閉会）